



**評価**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	明るく非行や犯罪のない町づくりの推進は、行政としても積極的に関わるべきである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	市町の規模に関わらず、現代社会においては特に必要であると思われる。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	明るく非行や犯罪のない町づくり推進のための活動支援であり適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	研修会も含めさまざまな活動が計画・実施されており非行防止等の思想普及が図られている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	啓発活動等は、継続して実施することで成果が向上するものと思われる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	活動が困難となり、犯罪予防活動及び組織の弱体化につながる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	保護司会を中心とした単一の事業であり、統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	会員会費と補助金で運営しており、事業費の削減は活動の規模縮小につながる。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	短期の業務であるため人件費は計上していない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	保護司会を中心とした無報酬の活動であり、受益者負担は困難である。

**改善**

改善策	1次評価	妥当性	現代社会では、特に必要であると思われる。
		有効性	非行・犯罪者の保護など専門的な部分もあり、犯罪のない明るい町づくりには必要不可欠である。
		効率性	保護司会を中心とした無報酬の活動であり、そのさまざまな活動に対しては応分の支援を行うべきである。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	当団体の活動を助成することで明るく非行や犯罪のない町づくりに向けて有効である。
		効率性	補助の内容を十分に審査し、経費の適正な執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。